

広島大学公開講座

2026（後期）



広島大学 学術・社会連携室 地域連携部

後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会・東広島市教育委員会

目次

2026年度後期 申込・受講について	P 1
1 ことばの謎を解く：日本語の文の見えない構造	P8
2 中東を読み解く：歴史、社会に目を向けて	P10
3 文学を研究するということ ― 世界の文学を題材に―	P12
4 時事問題を経済学的にひも解く	P14
5 森と陸と海と空のかかわり：地球をめぐる総合科学	P16
6 広大研究者が語る食の未来	P18
7 広島大学総合博物館20周年記念 広島大学公開講座 東広島植物園の意義と役割 ―植物園から発信する自然共生への挑戦―	P20
8 世界遺産登録30周年記念 広島大学公開講座 宮島の自然を未来へつなぐ ―森・海・シカから考えるネイチャーポジティブ―	P22
9 バイオテクノロジーってなあに？ 「バイオロジー（生物学）」と「テクノロジー（技術）」の合成語です。	P24
10 暮らしを支える建築のしくみ	P26
11 変わる社会・変わる法	P28
12 グローバル社会・大学・地域を結ぶ ～異文化との接触に備えて～ 「留学生に日本語・日本文化を教えてみよう」 [英語・日本語使用]	P30
13 「キャンパスまるごと博物館」で 数千万年の自然環境・歴史を学ぶ	P32
14 VR先端科学体験セミナーC ～省エネルギー月間スペシャル（放射光と省エネ技術）	P34
広島大学公開講座2026（後期）実施場所	P36

2026年度後期 申込・受講について

	講座名	形式	募集定員	料金	授業開始日	申込期限	二次締切日	場 所
1	ことばの謎を解く： 日本語の文の見えない構造	対面	15	無料	10/24(土)	10/5(月)		広島大学東広島キャンパス 教育学部K棟1階 109教室
2	中東を読み解く： 歴史、社会に目を向けて	対面	20	無料	10/25(日)	10/5(月)		広島大学きてみんさいラボ (広島駅南口 広島JPビルディング2階)
3	文学を研究するということ ー世界の文学を題材にー	対面	70	無料	11/1(日)	10/5(月)	10/22(木)	1回・2回：広島大学東千田キャンパス 慎思棟5階 SENDA LAB多目的スペース 3回・4回・5回：広島大学東千田キャンパス 東千田未来創生センター3階M303講義室
4	時事問題を経済学的にひも解く	対面	40	無料	11/8(日)	10/5(月)	10/29(木)	広島大学東千田キャンパス 慎思棟5階 SENDA LAB 多目的スペース
5	森と陸と海と空のかかわり： 地球をめぐる総合科学	対面	100	無料	11/14(土)	10/5(月)	11/4(水)	広島大学東千田キャンパス 総合校舎A棟5階 A501講義室
6	広大研究者が語る食の未来	対面	100	無料	11/14(土)	10/5(月)	11/4(水)	広島大学東千田キャンパス 総合校舎A棟4階 A402講義室
7	広島大学総合博物館20周年記念 広島大学公開講座 東広島植物園の意義と役割 ー植物園から発信する自然共生 への挑戦ー	対面	24	無料	11/21(土)	10/5(月)	11/11(水)	広島大学きてみんさいラボ (広島駅南口 広島JPビルディング2階)
8	世界遺産登録30周年記念 広島大学公開講座 宮島の自然を未来へつなぐ ー森・海・シカから考えるネイ チャーポジティブー	対面	24	無料	11/23(月)	10/5(月)	11/13(金)	広島大学きてみんさいラボ (広島駅南口 広島JPビルディング2階)
9	バイオテクノロジーってなあに？ 「バイオロジー（生物学）」と「テクノロジー（技術）」の合成語です。	対面	70	無料	11/28(土)	10/5(月)	11/18(水)	エソール広島 研修室1・2 (おりづるタワー10階)

	講座名	形式	募集定員	料金	授業開始日	申込期限	二次締切日	場 所
10	暮らしを支える建築のしくみ	対面	120	無料	12/5(土)	10/5(月)	11/25(水)	広島大学東広島キャンパス 工学部B2棟 107講義室
11	変わる社会・変わる法	対面	50	無料	12/5(土)	10/5(月)	11/25(水)	広島大学東千田キャンパス 東千田未来創生センター3階 M301講義室
		オンライン	100	無料		11/25(水)		オンライン：Zoom
12	グローバル社会・大学・地域を結ぶ～ 異文化との接触に備えて～： 「留学生に日本語・日本文化を教えて みよう」[英語・日本語使用] Connecting Global Society, University, and Local Society～Preparing Yourself For Intercultural Contact : Teaching Japanese Language and Culture [English & Japanese]	対面	25	無料	12/23(水)	10/5(月)	12/11(金)	広島大学東広島キャンパス MIRAI CREA ミライクリエ1階 多目的スペース
13	「キャンパスまると博物館」 で数千万年の自然環境・歴史を 学ぶ	対面	60	無料	1/30(土)	10/5(月)	1/20(水)	広島大学東広島キャンパス 教育学部K棟1階 104教室 (注意)会場は変更の可能性があり ます。受講許可のお知らせをする際 に、改めて最終的な会場をお知らせ します。
14	VR先端科学体験セミナーC ～省エネルギー月間スペシャル (放射光と省エネ技術)	対面	20	無料	2/27(土)	10/5(月)	2/17(水)	広島大学きてみんさいラボ (広島駅南口 広島JPビルディング2階)

◆お申込から受講までの流れ
申込方法は講座により異なります。

①オンライン講座 ※各講座により申込締切日が異なります。

申込は先着順です。定員に達し次第申込は終了とさせていただきます。

講座案内

パンフまたは
広島大学Web
サイトを
チェック



申込

広島大学Web
サイト申込
フォームより
申込



受講案内

URLが3日前
までに申込
メールアドレスに届く

※受講不可の方には一次
申込締切後に連絡します。



受講開始

URLにアクセス
して受講

②対面講座 ※一次申込締切日10/5（月）

一次締切時点で定員を超えた講座は抽選を行います。（先着順ではありません）

定員に達していなければ引き続き申込いただけます。

講座案内

郵送

公開講座パン
フレットを
チェック

W
E
B

広島大学Web
サイトを
チェック



申込

郵送

受講票を郵送
にて申込

W
E
B

広島大学Web
サイト申込
フォームより
申込



受講案内

郵送

郵送にて受講
可否案内（受講
票に記載）が届く

W
E
B

メールにて受
講可否案内が
届く



受講開始

郵送

必要に応じて
受付にて
受講票提示

W
E
B

必要に応じて、
受講可のメール
を会場で提示

※オンライン講座・対面講座ともに申込期限を越えた講座や定員に達した講座は、受付終了とさせていただきます。

◆安全安心に対面講座を受講して頂くために◆

お願い

- ・ご来場の際のマスク着用は個人の判断にお任せしますが、せき・くしゃみ等の症状がある場合は、不織布マスクを着用ください。
- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。

1.Webでの申込について

オンライン講座、対面講座ともWebから申込できます。
オンラインでの受講を希望される場合はWebでの申込となります。

お申込みはこちら ➡



「QRコードが読み込めない場合」

(1) 広島大学公開講座のページから申込フォームを開いてください。

【申込フォームのアクセス方法】

①広島大学公式ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp> を開いて、「社会・産学連携」をクリックしてください。



②「社会・産学連携」のページのメニューから「地域連携」をクリックし、さらに、そのページのメニューから「広島大学公開講座」をクリックしてください。



③「広島大学公開講座」のページにある案内をクリックすると、申込についての詳細な説明のページが開きます。

(2) オンライン申込フォームに必要事項を入力し、送信ボタンをクリックしてください。

- 申込期限 対面講座：一次募集締切日 2026年10月5日（月） 必着
オンライン講座：2026年11月25日（水）

(3) 送信ボタンをクリックすると、しばらくして登録したメールアドレスに、申込内容が送られてきます。**送られてきたメールは、申込の控えとなりますので、講座終了まで保管してください。**

(4) 申込期限終了後にメールにて受講可否をお知らせします。
有料講座については、受講可否及び受講料振込手続きの説明を記載したメールをお送りします。

※この受講可否のメールは対面講座においては受講票に代わるものですので、保存をお願いします。講座当日の受付時に受講可否のメール画面、もしくは受講可否のメールを印刷したものの提示を求めることがあります。

【申込手続きの注意事項】

- 対面講座：締切時点で定員を超えた講座は抽選を行います。(先着順ではありません)
オンライン講座：定員に達し次第申込は終了とさせていただきます。(申込は先着順です)
- 申込後メールが送られてこない場合は、迷惑メールのフォルダを確認してください。
メールを受信していない場合は、メールアドレスの誤入力の可能性がありますので、再度申込をお願いします。
- 確認のために連絡を差し上げる場合がございます。メールアドレスや電話番号を再度ご確認の上お申込ください。

«オンライン講座受講の場合»

(5) 講義開始の3日前までに、担当者から、受講に必要なウェブ会議システム（Zoom）のURLが届きます。

(6) 当日は、メールに書いてあるURLからウェブ会議システム（Zoom）を開いて、受講してください。

【オンライン講座受講に関する注意事項】

- スマートフォン、パソコンなどでのZoomの操作に関するお問い合わせに対応できませんので、ご了承ください。
- 著作権の関係から録画による講義内容の配信や資料等の再配布はいたしません。

2.郵送での申込について

※申込用紙は最終ページにあります

対面講座のみ申し込めます。

オンラインでの受講を希望される場合はwebでの申込となります。

(1) 広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当宛に次の①②を郵送してください。

① 申込書 (太枠内 (黄色部分) に記入)

② 返信用封筒1枚 (長形3号12cm×23.5cm)

住所・氏名・郵便番号を記入し、**110円切手**を添付

● 申込期限 対面講座：一次募集締切日 2026年10月5日 (月) 必着

● 一次締切時点で定員を超えた講座は、抽選を行います。先着順ではありません。

● 申込状況は、一次締切日以降、広島大学公開講座のWebサイトに掲載致します。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>

(2) 受講可否のお知らせ

一次募集締切の結果は、10月中旬頃に申込者全員へ受講票 (下図参照) の送付により受講可否をご連絡致します。

なお、講座当日の受付時にこの受講票の提示を求めることがありますので、ご持参ください。

※赤字は大学で記載致します。

広島大学公開講座2026(後期)申込書 (対面講座) 郵送専用紙		受付番号
		100
※受講を希望する講座の太枠内に○をご記入ください。 ※返信用封筒 (切手貼付け) を同封ください		
○印	講座番号・講座名	受講可否確認欄
	1. ことばの謎を解く：日本語の文の見えない構造 (対面講座)	
	2. 中東を読み解く：歴史、社会に目を向けて (対面講座)	
	3. 文学を研究するということー世界の文学を題材にー (対面講座)	
○	4. 時事問題を経済学的にひも解く (対面講座)	○
	5. 森と陸と海と空のかかわり：地球をめぐる総合科学 (対面講座)	
	6. 広大研究者が語る食の未来 (対面講座)	
○	7. 東広島植物園の意義と役割ー植物園から発信する自然共生への挑戦ー (対面講座)	×
	8. 宮島の自然を未来へつなぐー森・海・山から考えるネイチャー・ポジティブー (対面講座)	
	9. バイオテクノロジーってなあに？ (対面講座)	
	10. 暮らしを支える建築のしくみ (対面講座)	
	11. 変わる社会、変わる法 (対面講座)	
	※オンラインでの受講を希望される場合はwebでの申込のみとなります(4ページ参照)	
	12. グローバル社会・大学・地域を結ぶー異文化との接触に備えてー (対面講座)	
	13. 「キャンパスまるごと博物館」で数千万年の自然環境・歴史を学ぶ (対面講座)	
	14. VR先端科学体験セミナーCー省エネルギー・月間スペシャル (数制先と省エネ講座) (対面講座)	

→希望講座に○をしてお送り下さい

←受講可 (○印がある)

←受講不可 (×印がある)

ふりがな		性 別	年 齢
氏 名		男 ・ 女	歳
		□回答しない	
連絡先	〒		
電話番号	- - Email :		

※お申込みに伴う個人情報、講座の出席確認、緊急連絡、大学から公開講座に関する案内及び調査統計に利用し、その他の目的には利用しません。

受講可否確認欄に○の付してある講座の受講者として認めます。

受付済

←印が押してあるものが正式な受講票です。

2026年 月 日 国立大学法人 広島大学

3.二次募集について

一次募集締切時点で定員に達していない対面講座は、引き続き先着順で申込を受け付けます。定員に達した日に多数の申込書が届いた場合は、その日の到着分で抽選を行います。受講の可否は、随時申込時と同じ方法（郵送又はメール）にてお知らせいたします。

4.受講のキャンセル

下記の申込先へメールまたはお電話にてご連絡ください。

5.不測の事態が生じた場合

講師の急病等不測の事態が生じた場合、講師・内容の変更、日程の変更（延期）、開催中止とする場合があります。

また、自然災害による交通機関の混乱が予測される場合、講座を中止または延期することがあります。この場合、受講者の方へ個別に電話またはメールにてご連絡いたします。

なお、複数日の講座の場合は、全日程を中止とする場合があります。

6.注意事項

- 講義室変更、講師交代などがありましたら、広島大学公開講座のWebサイトに随時掲載します。
- 講座により、保険料等実費のご負担をお願いする事があります。
- 講座内容に関する問い合わせは、各講座ページ最下段の「講座内容に関する問い合わせ」へ（平日9：00～16：30）、申込に関するお問い合わせは、学術・社会連携室 公開講座担当へメールまたはお電話にてお願い致します。
- お申込みに伴う個人情報、講座の出席確認、緊急時の連絡、大学からの公開講座に関する案内等の送付及び調査統計に利用し、その他の目的には利用しません。
- 全講座、修了証書交付は行いません。

《申込先》

広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2

TEL 082-424-5691

E-mail chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

Webサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>



1

ことばの謎を解く： 日本語の文の見えない構造

文の中には意味を作るための見えないまとまりやルールがあります。本講座では、身近なことばの謎をパズルのように解きながら、文の構造を考えます。少人数のワークショップ形式で参加者自身が手を動かして考え、日本語の見えない構造を発見することを目指します。

会 場	対 面： 広島大学東広島キャンパス 教育学部 K棟109教室 オンライン： -
時 間	①13:00～14:20 ②14:30～15:50 ③16:00～17:20
定 員	対 面： 15 名 オンライン： - 名
対 象	高校生を対象とするが一般の方も聴講可(最小人数5名)
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5 (月)

同じ文なのに意味が違う

講 師： 大学院人間社会科学研究科 特任助教 田村 惇

第1回

10/24 (土)

①13:00～14:20

自己紹介・アイスブレイクの後、同じ文が複数の意味を持つ言語現象を観察し、なぜそうなるのかを考えます。

見えない文の構造を考える

講 師： 大学院人間社会科学研究科 特任助教 田村 惇

第2回

10/24 (土)

②14:30～15:50

同じ文が複数の意味を持つことを手がかりに、文が単純な語の並びではなく構造を持つことを考えます。

英語の文の構造&質疑応答**講 師： 大学院人間社会科学研究科 特任助教 田村 惇****第3回****10/24 (土)****③16:00~17:20**

日本語で観察した文の構造を英語と比べながら考えます。語順が異なっている英語にも文の構造があるのかを探ります。最後に全体の振り返りと質疑応答を行います。

**講座内容に関する
お問い合わせ先**

大学院人間社会科学研究科日本語教育プログラム 担当 田村 惇

電 話： 082-424-6873

メー ル： jtamura@hiroshima-u.ac.jp

2 中東を読み解く：歴史、社会に目を向けて

昨年から断続的に続く、ガザ・イランを含めた中東全域での戦争は、ガソリン価格の上昇など私たちの生活にも多くの影響を与えています。この厳しい現状を理解するとき、「イスラーム共和制」、「テロ組織」などの単語が独り歩きして、私たちと全く異なるメンタリティ、思想のもとで戦争が行われている印象を持たれている方も多いかもかもしれません。この講座では、少し視野を広げて中東の社会、歴史を振り返ることを通じて、センセーショナルな言動の裏に隠れてしまいがちな現地の人々の思いや考え方に迫っていきたいと思います。

会 場	対 面： 広島大学きてみんさいラボ（広島駅南口 広島JPビルディング2階） オンライン： -
時 間	14：00～15：15
定 員	対 面： 20 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5（月）

イスラームと中東の多宗教社会

講 師： 大学院人間社会科学研究科 准教授 池端 路子

第1回

10/25（日）

14：00～15：15

第一回は、世界で20億人を超える人口規模であるイスラームという宗教について、その基本となる「六信五行」の概念についてお話しします。また、中東地域は決してイスラーム教徒だけで構成されているわけではありません。キリスト教やユダヤ教の聖地・遺跡なども紹介しつつ、中東地域の宗教的多様性についてもお話ししていきます。

中東の多宗教社会と異文化包摂の歴史

講 師： 大学院人間社会科学研究科 助教 徳永 佳晃

第2回

11/1（日）

14：00～15：15

第二回は、中東社会の歴史に関して、特にイスラームと他の宗教、法体系との接触に目を向けつつお話しします。この話では、中東は古代から現代にいたるまで多宗教が共存している社会であること、その多様性のもとでイスラームの歴史も育まれたことに目を向けたいと思います。

「英雄から捕虜へ」：イランとアメリカの100年**講 師： 大学院人間社会科学研究科 助教 徳永 佳晃****第3回****11/8 (日)****14:00~15:15**

最終回は、近現代のイランの歩みについて、アメリカとの関係性を中心に
お話しします。まずは20世紀前半からイスラーム革命（1979）まで、両国
の関係が深まるとともに矛盾が蓄積されていった経緯を述べるとともに、
革命から半世紀ほどが経過して岐路に立たされるイラン・イスラーム共和
国の今にも光を当てていきます。

**講座内容に関する
お問い合わせ先****教育学系総括支援室（学士課程担当）****電 話：** 082-424-4432**メー ル：** kyoiku-gakusi@office.hiroshima-u.ac.jp

3

文学を研究すること — 世界の文学を題材に—

これまで世界各地で生み出され、伝えられてきた文学作品を「研究する」とは何を意味するのでしょうか。作品鑑賞・批評との違いは何でしょうか。本講座では世界の物語や小説、演劇を題材に文献学や言語研究、文学理論といった大学ならではの視点から、作品の読み解き方や研究の面白さを紹介します。

会 場	対 面 :	1回・2回：広島大学東千田キャンパス 慎思棟5階 SENDA LAB 多目的スペース
		3回・4回・5回：広島大学東千田キャンパス 東千田未来創生センター3階 M303講義室
	オンライン :	—
時 間	①13:00～14:15 ②14:30～15:45 ③16:00～17:15	
定 員	対 面 :	70 名
	オンライン :	— 名
対 象	どなたでも	
受講料	無料	
申込方法	郵送・Web	
申込期限	一次申込締切 :	10/5 (月)
	※ 定員に達しなければ 10/22 (木) (必着) まで先着順で受付	

ブルーラヴァス王と天女ウルヴァシーの物語

講 師：大学院人間社会科学研究科 准教授 尾園 絢一

第1回

11/1 (日)

①13:00～14:15

地上の王ブルーラヴァスが、夫婦の契りを交わした天女ウルヴァシーを探し求めて彷徨い歩く物語は古代インドのバラモン教聖典「ヴェーダ」から文豪カーリダーサの作品に至るまで長く愛され語り継がれてきました。本講義では、最新の研究に基づいて神話資料や文学作品を読み解き、この神話的物語がどのように受容され、変容してきたのかをたどります。

『オペラ座の怪人』を評価する

講師：大学院人間社会科学研究科 教授 宮川 朗子

第2回

11/1 (日)

②14:30~15:45

文学研究の目的は、なんといっても作品を評価することでしょう。その方法は多様ですが、作品のジャンル、文章の美しさ、思想性、それが生まれた時代との関係性の観点などからその価値が総合的に判断されます。この講座ではガストン・ルルー『オペラ座の怪人』(1910)を例にとり、この作品がどのように評価されるのかをお話しします。

18世紀ドイツ演劇黎明期におけるレッシングの喜劇と演技論

講師：広島大学 名誉教授 小林 英起子

第3回

11/29 (日)

①13:00~14:15

18世紀中頃までドイツ演劇はフランス、イギリス等の演劇界に比べてまだ黎明期にありました。劇作家レッシングは古代ローマやヨーロッパ周辺諸国の演劇の影響を受け、翻訳や翻案の試みを経て、ドイツ的な喜劇を創作していきます。レッシングの喜劇に見られるセリフの機知と愉快さ、諷刺、そして革新的な啓蒙思想を解き明かし、彼が考えた演技論を紹介します。

さまざまな『源氏物語』

講師：大学院人間社会科学研究科 准教授 小川 陽子

第4回

11/29 (日)

②14:30~15:45

日本の古典文学は、手で書き写すことを繰り返しながら現代まで伝わってきました。書き写す際に誤りが生じることもあれば、あえて文章を書き換えることもあり、結果的に、同じ作品であっても複数のバリエーションが生まれることとなりました。本講義では、『源氏物語』のバリエーションに目を向け、その生成背景と多様な作品世界について考えます。

「英詩の父」チョーサーの文学作品とその言語

講師：大学院人間社会科学研究科 教授 大野 英志

第5回

11/29 (日)

③16:00~17:15

「英詩の父」と呼ばれるジェフリー・チョーサーが活躍した14世紀後半は、イングランドにおいて約300年にわたってフランス語が重視された後、英語が再びその地位を回復しつつあった時代でした。本講義では、このような言語状況の中で、チョーサーがフランス語からの借用語をどのように英語作品へ取り入れたのかについて考えます。

講座内容に関する
お問い合わせ先

人文社会科学系支援室(文) 運営支援担当

電話： 082-424-6602

メール： bun-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

4

時事問題を経済学的にひも解く

「時事問題を経済学的にひも解く」というテーマで、以下の3つの講義を行います。

会 場	対 面 : 広島大学東千田キャンパス 慎思棟5階 SENDA LAB 多目的スペース オンライン: -
時 間	①13:00~14:20 ②14:30~15:50 ③16:00~17:20
定 員	対 面 : 40 名 オンライン: - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切: 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 10/29 (木) (必着) まで先着順で受付

チームはなぜ賢くなれないのかー情報共有と意思決定の心理学ー

講 師: 大学院人間社会科学研究科 教授 相馬 敏彦

第1回

11/8 (日)

①13:00~14:20

組織やチームの成果は、情報そのものよりも、情報共有や意思決定のあり方に左右されます。本講座では、コミュニケーションマネジメントに関する心理学の知見をもとに、チームが陥りやすい落とし穴とその乗り越え方を考えます。

為替レート: 金融資産投資への影響と適正水準の考察

講 師: 大学院人間社会科学研究科 准教授 小野 貞幸

第2回

11/8 (日)

②14:30~15:50

内外の金融資産への投資が為替レートの変更から受ける影響と、マクロ経済理論に基づく為替レートの適正値を紹介します。

Uniqlo&Zaraの事例からファスト・ファッション・ブランドの競争戦略を考える

講師：大学院人間社会科学研究科 准教授 秋山 高志

第3回

11/8 (日)

③16:00~17:20

ファスト・ファッション大手2ブランドの事例を分析することで、同一業種に所属する企業同士であっても競争戦略が大きく異なることを明らかにし、競争戦略は企業ごとに多様であることを考察します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

人文社会科学系支援室（経）

電話： 082-424-6753

メール： syakai-soumu-kaikei@office.hiroshima-u.ac.jp

5

森と陸と海と空のかかわり： 地球をめぐる総合科学

私たちの住む地球では森と陸と海が密接にかかわりあい、繊細なバランスを保っています。この講座では「地球をめぐる総合科学」をテーマにし、さまざまな視点から、地球環境を総合的にとらえ、持続的な社会構築へのヒントを考えます。

会 場	対 面： 広島大学東千田キャンパス 総合校舎A棟5階 A501講義室 オンライン： -
時 間	①10:00～10:55 ②11:05～12:00 ③13:15～14:10 ④14:20～15:15 ⑤15:25～16:20
定 員	対 面： 100 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 11/4 (水) (必着) まで先着順で受付

気候を変える大気と海洋の相互作用

講 師： 大学院統合生命科学研究科/総合科学部 教授 岩本 洋子

第1回

11/14 (土)

①10:00～10:55

地球の表面の約7割を占める海洋は大気と熱や物質をやり取りすることで、気候に大きな影響を与えています。世界平均の約2倍の速度で温暖化が進む日本周辺海域と極端気象との関わり、地球を冷ます雲の役割について、野外観測の実際を交えながら解説します。

地球をめぐる水と森のかかわり－持続可能な環境と社会の視点から－

講 師： 大学院先進理工系科学研究科/総合科学部
教授 小野寺 真一

第2回

11/14 (土)

②11:05～12:00

水は海から空、陸、そして海へとめぐり、地球の生命を育み、人間・社会を支えています。この講義では、特に森に注目し、『緑のダム』としての水源涵養や水害制御機能の真偽、森林の水消費・大気放出がもたらす『空の川』の意味、『森は海の恋人』なのかなどを、地球環境や水環境問題と関連付けて解説します。

花崗岩の一生に見る岩石-水-大気のかかわり

講師：大学院先進理工系科学研究科/総合科学部 教授 横山 正

第3回

11/14 (土)

③13:15~14:10

広島県を代表する岩石である花崗岩は、地下深部で誕生後、長い時間をかけて地中を上昇し、現在は地表に露出しています。地表では花崗岩が風化して砂状になり、侵食されていきます。また、花崗岩と雨水との反応は、大気の二酸化炭素濃度を調節する役割も持つと考えられています。講義では、これらの過程を解説します。

森林が地球温暖化のカギだった！？森と空との深い関係

講師：大学院統合生命科学研究科/総合科学部 教授 山田 俊弘

第4回

11/14 (土)

④14:20~13:15

地球温暖化は、大気中の二酸化炭素濃度の上昇によりもたらされています。では、大気中の二酸化炭素濃度上昇の原因は、何なのでしょう？ もちろん、化石燃料の使用は、その主要な原因です。しかし、意外なことに、森も地球温暖化に一枚噛んでいるのです。講義では、森と空との深い関係を温暖化の視点から解説します。

有機物やプラスチックによる環境汚染

講師：大学院統合生命科学研究科/総合科学部 教授 竹田 一彦

第5回

11/14 (土)

⑤15:25~16:20

私たちが接する環境は常に何らかの「汚染物質」にさらされる可能性があります。過去においては毒性の強い農薬や重金属による環境汚染が深刻でした。今はどうでしょう？汚染物質の過去と現在を解説しながら、地球環境の将来を考えていきます。

講座内容に関する
お問い合わせ先

総合科学系支援室（学士課程担当）

電話： 082-424-7919

メール： souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

6

広大研究者が語る食の未来

食料は、人々の生命と健康を支える基盤であり、その安定的な供給には、持続可能な農業生産と健全な食料消費のあり方が深く関わっています。また、生産から加工、流通、消費に至る過程において食の安全を確保することは、安心できる食生活を支える重要な課題です。さらに近年では、食品に含まれる成分やその機能性に対する関心も高まり、健康維持や疾病予防との関係が注目されています。本講座では、農業生産、食料消費、食の安全、食品の機能性という観点から、私たちの食と健康をめぐる最新のトピックスをわかりやすく解説します。

会 場	対 面： 広島大学東千田キャンパス 総合校舎A棟4階 A402講義室 オンライン： -
時 間	①13:00~14:00 ②14:15~15:15 ③15:30~16:30
定 員	対 面： 100 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 11/4 (水) (必着) まで先着順で受付

身近に潜む食中毒菌

講 師： 大学院統合生命科学研究科 教授 中山 達哉

第1回

11/14 (土)

13:00~14:00

細菌は、私たちの手や足はもちろんのこと、食品にも付着しています。これら身の回りにいる細菌が、食品と一緒に私たちのお腹の中に入り、食中毒を引き起こす原因となっています。ここでは私たちの身の回りにいる食中毒菌の最新トピックとその対策を紹介します。

発酵乳のチカラと機能性

講 師： 大学院統合生命科学研究科 助教 山本 祥也

第2回

11/14 (土)

14:15~15:15

普段の生活の中で私たちの健康を維持・増進する食品の選択肢は増えつつあります。その中でも発酵乳（ヨーグルト）は、健康づくりに欠かせない代表的な食品として着目されています。今回は、科学的な根拠に基づく、発酵乳の多彩な保健機能について紹介します。

どうなる？食の未来

講師：大学院統合生命科学研究科 教授 長命 洋佑

第3回

11/14 (土)

15:30~16:30

農業資材高騰・米価高騰が報道される中、日々、我々が食べている「食」に対する認識を改めて見直す機会が来ていると感じます。「食」を作る「農」について理解を深めることにつながるような現場の実態について紹介します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

生物学系総括支援室学士課程担当 担当 今井 康晴

電話： 082-424-7915

メール： sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学総合博物館20周年記念

広島大学公開講座

7

東広島植物園の意義と役割

—植物園から発信する自然共生への挑戦—

東広島植物園は、教員や学生の研究・教育のために、多様な植物や教材植物を栽培・育成して供給しています。さらには、植物の形態分類、生理、生態学などを学ぶための実習や、栽培技術指導の場として活用されています。近年、身近な自然や里山が失われつつある中、希少な植物を系統的に栽培・繁殖させ、その資源を守っています。採取した植物は標本として集積し保存しています。 広島大学総合博物館は、2026年11月に開館20周年を迎えますが、東広島植物園は、博物館のサテライト施設として、これまで植物の展示解説を担当してきました。また、長年にわたり、キャンパスの自然環境において、生物多様性保全の取り組みを進めてきました。

本講座では、東広島植物園における植物の栽培・保全活動と地域社会に向けて行っている普及啓発活動について紹介します。植物園は、学生活動の拠点にもなっており、学生が主体となって取り組む野外活動についても紹介します。さらに、キャンパスを研究フィールドとして進められている湿地環境、コケ植物、森林植生に関する研究を取り上げ、身近な自然環境を継続的に調査することの意義を考えます。これらの活動や研究を通して、生物多様性の損失を食い止め、回復へと転じさせる「ネイチャーポジティブ」や、森林・湿地による炭素の吸収・蓄積を通じた「カーボンニュートラル」、さらにSDGsの達成に大学キャンパスがどのように貢献できるのかを紹介します。

会 場	対 面： 広島大学きてみんさいラボ（広島駅南口 広島JPビルディング2階） オンライン： -
時 間	①9：20～10：00 ②10：00～10：20 ③10：30～11：10 ④11：10～11：50 ⑤12：00～12：40
定 員	対 面： 24 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5（月） ※ 定員に達しなければ 11/11（水）（必着）まで先着順で受付

東広島植物園の活動と役割—これまでの取り組みから

講 師： 東広島植物園 技術主任 塩路 恒生

第1回

11/21（土）

①9：20～10：00

東広島植物園では、大学の教育・研究に用いられる植物の栽培や、貴重な植物の保護・維持管理を行っています。総合博物館のサテライトとして、植物資源を守り、研究や学習に活用する植物園の活動を紹介します。

キャンパスの自然を守り、伝える—学生による野外活動

総合博物館公認ボランティア
 講師： キャンパス・スチューデント・レンジャー 本間 裕晟

第2回

11/21 (土)

②10:00~10:20

学生が主体となり、キャンパス内の動植物調査、森林や水辺の環境整備、外来植物の除去、観察会や展示などに取り組んでいます。その活動について紹介します。

生物多様性を未来へ—湿地環境の保全と研究

講師： 大学院統合生命科学研究科 國井 秀剛

第3回

11/21 (土)

③10:30~11:10

東広島市には、湿地や水辺を利用する多様な生き物が生育・生息しています。湿地環境の調査や管理を通して、生物多様性を保全する取り組みと研究を紹介します。

小さな植物から環境を読み解く—コケ植物の多様性と機能

講師： 大学院統合生命科学研究科 弘松 瑤希

第4回

11/21 (土)

④11:10~11:50

キャンパス内のさまざまな環境に生育するコケ植物の多様性や環境への適応、生態系における役割を明らかにする研究を紹介します。

変わりゆく広島の森—森林植生の調査と研究

講師： 大学院統合生命科学研究科 中村 創

第5回

11/21 (土)

⑤12:00~12:40

広島大学周辺の森林では、樹木の成長や森林遷移、マツ枯れ、管理の違いなどによって、植生が少しずつ変化しています。植物調査や地形・土壌、ドローンなどを用いた研究から、森林の現状と将来について議論します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

東広島植物園 担当 塩路 恒生

電話： 082-424-7111

メール： tshioji@hiroshima-u.ac.jp

世界遺産登録30周年記念 広島大学公開講座

8

宮島の自然を未来へつなぐ

ー 森・海・シカから考えるネイチャーポジティブー

広島県廿日市市の宮島は、2026年12月に世界遺産登録30周年を迎えます。海から山頂まで連続する豊かな自然は宮島の大きな価値であり、多様な生き物を育む基盤です。また、神事に関わる植物の存在にも見られるように、宮島の自然は文化とも深く結びついており、30周年の節目は、地域の皆様や関係者による長年の努力によって、その自然と文化が守り受け継がれてきた成果でもあります。一方で、この30年間には自然災害や外来種の増加など、宮島の自然環境を取り巻くさまざまな変化がありました。

本講座では、森林植生をはじめとする宮島の自然環境と生物多様性の魅力、宮島のシカの生態や最新の研究成果について紹介します。さらに、森林火災や豪雨災害からの回復、地域と連携した緑化活動などを通して、宮島の自然をよりよい状態にして未来へつなぐ「ネイチャーポジティブ」の実践について紹介します。

会 場	対 面 : 広島大学きてみんさいラボ (広島駅南口 広島JPビルディング2階) オンライン : -
時 間	①10:00~11:30 ②13:30~14:45 ③15:00~16:15
定 員	対 面 : 24 名 オンライン : - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 : 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 11/13 (金) (必着) まで先着順で受付

宮島の自然と生物多様性

講 師 : 瀬戸内CN国際共同研究センター 宮島自然植物実験所
准教授 坪田 博美

第1回

11/23 (月 祝)

①10:00~11:30

宮島の自然、とくに森林植生や海岸植生等について解説します。また、宮島を特徴づける植物など、自然と文化の結びつきにもふれながら、生物多様性や宮島の炭素固定量について解説します。

宮島のシカと生態系

講師：瀬戸内CN国際共同研究センター 宮島自然植物実験所
准教授 坪田 博美

第2回

11/23 (月 祝)

②13:30~14:45

宮島には野生のシカがいます。DNAを使った研究により明らかになった、宮島のシカの系統や食性等について解説します。

宮島の自然を未来へつなぐ

講師：瀬戸内CN国際共同研究センター 宮島自然植物実験所
准教授 坪田 博美

第3回

11/23 (月 祝)

③15:00~16:15

宮島の自然も過去の危機を乗り越えてきました。林野火災や豪雨災害、稀少種の保全や外来種の影響、地域の活動など、ネイチャーポジティブについて解説します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

宮島自然植物実験所 担当 内田 慎治

電話：0829-44-2025

メール：miyajima@hiroshima-u.ac.jp

9

バイオテクノロジーってなあに？

「バイオロジー（生物学）」と「テクノロジー（技術）」の合成語です。

生物の持つさまざまな働きを上手に利用し、私たち人間の生活や環境保全に役立たせようという技術を広島大学工学部／統合生命科学研究科では、1.優れた生物機能を探し出す（探すバイオ）、2.生物機能の詳細を解明するバイオ（知るバイオ）3.生物機能を育て活用するバイオ（活用するバイオ）と名付け、教育・研究をしています。最新の情報も交えてわかりやすく紹介します。

講義は40分（質疑応答10分を含む）で6つの話が聞けます。

協賛：公益社団法人 日本生物工学会

会 場	対 面： エソール広島 研修室1・2（おりづるタワー10階） オンライン： -
時 間	【1回(1)】 13：00～13：40 【1回(2)】 13：40～14：20 【2回(1)】 14：20～15：00（休憩15分） 【2回(2)】 15：15～15：55 【3回(1)】 15：55～16：35 【3回(2)】 16：35～17：15
定 員	対 面： 70 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5（月） ※ 定員に達しなければ 11/18（水）（必着）まで先着順で受付

探すバイオ/海のバイオテクノロジー

講 師： 大学院統合生命科学研究科 教授 岡村 好子

第1回（1）

11/28（土）

13：00～13：40

海に眠る莫大な未利用の微生物資源。どうやったら利用できるのか、お話ししましょう。

探すバイオ/微生物・酵素で有用物質をつくる

講 師： 大学院統合生命科学研究科 准教授 田島 誉久

第1回（2）

11/28（土）

13：40～14：20

バイオでものづくりをするための微生物、遺伝子、酵素などの資源を探索し、組み合わせて利用する研究について紹介します。

知るバイオ/酵母と老化・寿命の研究

講師：大学院統合生命科学研究科 教授 水沼 正樹

第2回 (1)

11/28 (土)

14:20~15:00

酵母菌は単細胞微生物だけれどもヒトと同じ仕組みを持っています。その酵母菌を利用すると老化や寿命の研究もできます。いったいどんな研究か、わかりやすくお話しします。

知るバイオ/酵母菌を使ってがんを研究する

講師：大学院統合生命科学研究科 准教授 上野 勝

第2回 (2)

11/28 (土)

15:15~15:55

酵母菌は単細胞微生物だけれどもヒトと同じ仕組みを持っています。その酵母菌を利用したがん研究をわかりやすく紹介します。

活用するバイオ/微生物と物質循環

講師：大学院統合生命科学研究科 教授 廣田 隆一

第3回 (1)

11/28 (土)

15:55~16:35

バイオテクノロジーが、資源・エネルギー枯渇、環境汚染、食糧問題などにどのように貢献できるのか、最新の研究を紹介します。

活用するバイオ/バイオでアスベストを検出する

講師：大学院合生命科学研究科 教授 黒田 章夫

第3回 (2)

11/28 (土)

16:35~17:15

バイオを利用してアスベストや毒素などを迅速・簡便に検出する、その元になったアイデアと実現までの研究を紹介します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

理学系支援室(先端)学生支援担当 担当 松原 哲

電話： 082-424-7008

メール： sentan-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

10

暮らしを支える建築のしくみ

普段何気なく利用している建物は、どのような仕組みによって私たちの暮らしを守っているのでしょうか。建築には、美しいデザインだけでなく、地震や災害に耐える構造技術、快適な環境をつくる技術、そして建物を長く使い続けるための工夫が詰まっています。本講座では、身近な建築を支える技術のしくみを紹介するとともに、安全で持続可能な未来の暮らしを支える建築の役割について解説します。

会 場	対 面： 広島大学東広島キャンパス 工学部B2棟 107講義室 オンライン： -
時 間	10:00～16:50
定 員	対 面： 120 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 11/25 (水) (必着) まで先着順で受付

見えない足元に潜むリスク：地震に強い地盤・弱い地盤の真実

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
教授 三浦 弘之

第1回

12/5 (土)

10:00～10:50

様々な災害における地盤のリスク（地震時の揺れやすさ、液状化危険度、土砂災害危険度）を解説し、ハザードマップの読み解き方、危険な地盤の見抜き方、などを紹介します。

大きな地震でも揺れにくい建物の構造

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
准教授 陳 星辰

第2回

12/5 (土)

11:00～11:50

免震・制振構造の基本を解説するとともに、中四国地域の代表的な建築物を具体例として取り上げます。

木造建築のしくみとその可能性

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
教授 森 拓郎

第3回

12/5 (土)

13:00~13:50

住宅を対象とした木造建築の耐震（地震に対する抵抗）性能に関する実験的な試みと、現在の大規模木造に関する取組みとその可能性について紹介します。

環境の力を活かす建築のしくみ

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
教授 金田一 清香

第4回

12/5 (土)

14:00~14:50

地域固有の環境の力を活かした建築の事例を紹介し、地中熱や放射空調など、快適な暮らしを支えるエコ技術をわかりやすく解説します。

デジタルで探る、都市と建築の「見えないしくみ」

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
教授 田中 貴宏

第5回

12/5 (土)

15:00~15:50

近年、経験や勘だけに頼るのではなく、科学的理解に基づいて都市や建築をデザインする「Evidence-based Design」が注目されていますが、そのためには、都市や建築の「見えないしくみ」の理解が欠かせません。この回は、その最前線の取り組みをいくつか紹介します。

住まい・空間ができる世界の仕組み

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
准教授 角倉 英明

第6回

12/5 (土)

16:00~16:50

日本の住宅は、他の先進国と比較すると実に特殊な道を歩んでいます。ここでは、わが国の住宅ができる世界の仕組みとその変化について解説し、近い将来により良い住空間を手にするために皆さんにできることを紹介します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

工学系総括支援室 学士課程担当

電 話： 082-424-7515

メー ル： kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp

11

変わる社会・変わる法

身近なトラブルや生活の場面には、社会の変化に伴って姿を変える法律問題が関わっています。本講座では、契約・家族・仕事などをテーマに、法の仕組みとその変容を分かりやすく解説するとともに、社会のあり方との関係にも目を向けます。

会 場	対 面 : 広島大学東千田キャンパス 東千田未来創生センター3階 M301講義室 わライフ: Zoom
時 間	14:00~15:15
定 員	対 面 : 50 名 わライフ: 100 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切: 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 11/25 (水) (必着) まで先着順で受付 オンライン受講申込締切 11/25 (水) ※オンラインでの受講を希望される場合はwebでの申込となります

若年無業者の実態と社会的支援

講 師: 大学院人間社会科学研究科 助教 金本 佑太

第1回

12/5 (土)

14:00~15:15

学校を離れた後も就職できず社会との関わりを失ってしまう若者として、若年無業者のおかれた状況や求められる社会的支援のあり方について考えます。

働く高齢者の増加とその法的課題

講 師: 大学院人間社会科学研究科 准教授 稲谷 信行

第2回

12/12 (土)

14:00~15:15

高齢化の進展に伴い、60歳を超えて働く労働者も増加しています。この回では、高齢者の雇用を巡る法制度や近時の裁判例に焦点を当て、その法的課題について考えます。

離婚後の親子のあり方と子どもの利益～共同親権選択制の導入と課題**講師：大学院人間社会科学研究科 准教授 高田 恭子****第3回****12/19 (土)****14:00～15:15**

2026年4月より、離婚後も父母双方が親権者となることを選択できる制度が始まりました。離婚後の親子を中心に、家族法が「親の権利」から「子どもの利益」へと展開してきた流れを確認し、今後の課題について考えます。

変わる法と裁判～デジタル化と個人情報保護**講師：大学院人間社会科学研究科 教授 宮永 文雄****第4回****1/9 (土)****14:00～15:15**

2026年5月から本格施行された民事裁判のデジタル化とその活用による訴訟制度の改革について取り上げるとともに、個人情報の保護などについての問題点を考えます。

令和3年民法・不動産登記法の改正等とその後の状況**講師：大学院人間社会科学研究科 教授 堀田 親臣****第5回****1/23 (土)****14:00～15:15**

本講では、所有者不明土地問題に対応するため令和3年に行われた法改正等について、民法(所有権関係)の改正を中心に、法施行後の状況を踏まえつつ、具体的事例を用いてその内容を解説します。

変わるマンション法～老朽化時代の建替え・管理のルール**講師：大学院人間社会科学研究科 准教授 金 ミンジュ****第6回****1/30 (土)****14:00～15:15**

マンションの老朽化・管理不全を背景に、2026年4月、建替えや管理の決議要件などを見直す改正区分所有法が施行されました。本講座では、何がどのように変わり、私たちの暮らしにどのような影響があるのかを分かりやすく解説します。

**講座内容に関する
お問い合わせ先**

東千田地区支援室（総務担当）**電話： 082-542-7014****メール： senda-bk-sien@office.hiroshima-u.ac.jp**

12

グローバル社会・大学・地域を結ぶ

～異文化との接触に備えて～：

「留学生に日本語・日本文化を教えてみよう」 [英語・日本語使用]

Connecting Global Society、University、and Local Society

～Preparing Yourself For Intercultural Contact：

Teaching Japanese Language and Culture [English & Japanese]

本講座は、異文化との接触に備え、自身の文化について再考してみたい方、大学における国際教育を体験してみたい方、留学生に日本語・日本文化を教えてみたい方、留学生との交流に興味のある方に向けて英語・日本語を使用して講義を行います。カルチャーショックと逆カルチャーショック、留学における異文化適応と再適応、異文化間能力、異文化間コミュニケーションの基礎について学び、留学生と一緒にディスカッションします。また、実際に留学生に日本語を教える挑戦もします。

* 英語が話せなくても参加可能です。留学生も日本語での対話に挑戦します。

* スライドは英語と日本語で提示、英語・日本語で随時支援します。

* 留学生と話したことのない方・国際経験のない方を大歓迎いたします。

毎年新しい留学生が来ます。留学生は地域の皆様との出会いを楽しみにしています。

会 場	対 面： 広島大学 東広島キャンパス ミライクリエ 1階 多目的スペース オンライン： -
時 間	①12:50～14:20 ②14:35～16:05
定 員	対 面： 25 名 オンライン： - 名
対 象	日本語教師・留学・異文化間理解・国際教育交流・地域国際化に興味のある方 Any person who has interest in Japanese language pedagogy、study abroad、intercultural understanding、international educational exchange、and internationalization of local society
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 12/11 (金) (必着) まで先着順で受付

異文化との接触：異文化間リテラシーを身に付ける

Intercultural Contact: Intercultural Literacy

講師：森戸国際高等教育学院 教授 恒松 直美**第1回****12/23 (水)****①12:50～14:20**

カルチャーショックと逆カルチャーショックとは？留学における異文化適応と再適応とは？異文化間コミュニケーション、異文化間リテラシー、文化の次元、言語の機能と意味などについて、実例も交えつつ様々な角度から捉え、異文化間理解について学びます（大学院生、留学生にも参加を募ります。留学生とのグループワーク、ペアワークにも挑戦します）。

日本語・日本文化を教える：留学生に教えてみよう

Teaching Japanese Language and Culture: Let's Try It with International Students

講師：森戸国際高等教育学院 教授 恒松 直美**第2回****12/23 (水)****②14:35～16:05**

簡単な日本語を留学生に教えてみます。普段なにげなく使用している日本語の文法・言葉を留学生に伝えてみます。日本文化について異文化圏から来た留学生に説明してみます。グループでディスカッションし、実際に留学生に教えてみることで、慣れ親しんだ日本文化をどう伝えるかを一緒に考えます。留学生と接したことのない方も一緒に新しい挑戦にトライ！

**講座内容に関する
お問い合わせ先**

森戸国際高等教育学院 教授 恒松 直美

電話： 082-424-6279

メール： ntsunema@hiroshima-u.ac.jp

13

「キャンパスまるごと博物館」で 数千万年の自然環境・歴史を学ぶ

広島大学総合博物館は開館20周年を迎えます。博物館では、本館を中心に豊かな自然環境や遺跡を含み込んだ「キャンパスまるごと博物館」として活動を展開しています。本講座では、キャンパスの地質、その上に育まれた自然環境、ここで営まれた人間活動（遺跡）について、数千万年のスケールで現在の東広島キャンパスの特徴を分かりやすく解説します。広大な東広島キャンパスを散策し、遺構を復元した遺跡の見学、地層の観察や植物の紹介を通して、自然と歴史、またそのつながりを学びます。また、リニューアルした博物館本館の展示を見学し、広島大学の近年の研究や新しい標本など、特徴的な展示を解説します。

会 場	広島大学東広島キャンパス 教育学部 K棟1階 104教室 (注意) 会場は変更の可能性があります。
	対 面 : 受講許可のお知らせをする際に、改めて最終的な会場をお知らせします。
	ワライ : -
時 間	①13:00~13:45 ②13:50~14:35 ③14:40~15:25 ④15:35~16:35 ⑤16:45~17:15
定 員	対 面 : 60 名 ワライ : - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 : 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 1/20 (水) (必着) まで先着順で受付

東広島キャンパスの遺跡

講 師 : 総合博物館 研究員 石丸 恵利子

第1回

1/30 (土)

①13:00~13:45

東広島キャンパスでは約40ヶ所の遺跡が発見されています。旧石器時代から近世までの各時代の遺跡が存在することから、連続して人々が住み続けてきた地域であることが分かります。これらキャンパスの遺跡の特徴や調査成果から、当時の暮らしや文化について学んでもらえればと思います。

東広島キャンパスの地質

講師：総合博物館 学芸職員 黒島 健介

第2回

1/30 (土)

②13:50~14:35

自然豊かな東広島キャンパスには、自然の岩肌が露出している場所（露頭）がいくつかあります。数千万年の時を刻む「花崗岩」に数十万年前の水場で形成された地層である「西条層」。それらを観察しながら、大きさのみならず時間的にも壮大なスケールの東広島キャンパスを紹介します。

東広島キャンパスの自然

講師：東広島植物園 技術主任 塩路 恒生

第3回

1/30 (土)

③14:40~15:25

東広島キャンパスには、昔ながらの里山環境が残されています。里山は、人が長年利用し干渉することで形成されてきたものです。そして、そこでは人の生活と関わりのある植物が多く見られます。キャンパスの自然を紹介しながら、私たちの暮らしとのつながりや植物の楽しみ方について学びます。

東広島キャンパスの遺跡・地質・自然を巡る

総合博物館 学芸職員 黒島健介

講師：東広島植物園 技術主任 塩路恒生

総合博物館 研究員 石丸恵利子

第4回

1/30 (土)

④15:35~16:35

東広島キャンパスには、屋外にたくさんの見どころがあります。第1回から第3回で学んだ内容について、実際に現地で実物を見ながら解説します。遺跡に復元された住居跡から分かる歴史や文化、キャンパスの地質の特徴、植物から分かる自然環境を体験的に学びます。

本館展示リニューアル！展示物で学ぶ

講師：総合博物館 学芸職員 黒島 健介

第5回

1/30 (土)

⑤16:45~17:15

総合博物館本館は開館20周年を迎え、展示の一部をリニューアルしました。広島大学の最近の研究に関わる内容を増やすとともに、展示標本数もこれまでより増やしています。展示台や水槽なども含め、装いを新たにしました博物館で、特徴的な展示を解説します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

総合博物館 石丸 恵利子

電話： 082-424-6198

メール： ishimaru@hiroshima-u.ac.jp

14

VR先端科学体験セミナーC

～省エネルギー月間スペシャル（放射光と省エネ技術）

パソコンや携帯電話のない生活を、皆さんは想像できるでしょうか。近年、AIの活用が進み、私たちの暮らしや働き方は大きく変わりつつあります。こうした変化を支えているのは、原子や電子といった目に見えない「ミクロの世界」を扱う科学技術です。ミクロの世界の仕組みを理解し、それを上手に活用することは、現代社会においてますます重要になっています。ミクロな世界を詳しく観察するための最先端技術の一つが「放射光」です。本講座では、世界をリードする日本の放射光科学について、専門知識がなくても理解できるよう、やさしく丁寧に解説します。実際の実験や演示を交えつつ、物質や宇宙の不思議、自然の多様性に触れていきます。

2月は省エネルギー月間です。快適なくらはしはエネルギーを多く必要とします。2月は寒い時期にあたり省エネを呼びかける月となっています。AIの利用や元気な産業の展開には、エネルギーが必要です。持続可能な社会という観点では、できるだけ省エネで臨みたいところです。省エネ材料の探索や開発で放射光が活用されています。放射光の省エネ分野での研究をみていきましょう。

会 場	対 面： 広島大学きてみんさいラボ（広島駅南口 広島JPビルディング2階） オンライン： -
時 間	13：00～17：30
定 員	対 面： 20 名 （最小人数 5名） オンライン： - 名
対 象	大学生を含む一般社会人
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5（月） ※ 定員に達しなければ 2/17（水）（必着）まで先着順で受付

放射光はどんな光？～放射光科学入門～

講 師：放射光科学研究所 客員教授 生天目 博文

第1回

2/27（土）

13：00～14：10

放射光は、宇宙空間でも生じる特別な性質をもった光の一種です。この光を地上で作出し、様々な分野の研究に活用している施設が「放射光施設」です。広島大学には、国立大学として唯一の放射光実験施設があり、最先端の科学研究を進めるとともに、次世代の研究者や技術者の育成に力を入れています。

放射光がどのようにして生まれるのか、その基本的な仕組みや特徴について、できるだけやさしく解説します。また、国内外の最先端科学の現場で、放射光がどのように活用されているのかを、具体例を交えてご紹介します。

あわせて、光の性質を体感できる演示実験も行います。光がつくる模様（回折）や、光の偏光という性質を実際に観察しながら、目に見えない光の世界を身近に感じていただきます。

放射光施設訪問～きてみんさい放射光～**講師：放射光科学研究所 客員教授 生天目 博文****第2回****2/27 (土)****14:20～15:30**

放射光の研究施設を、実際に「訪ねて」みませんか。本講座では、仮想現実（VR）映像を使い、まるで現地にいるかのような臨場感あふれる体験をお届けします。

今回は、HiSOR（広島大学放射光科学研究所）をわかりやすくご紹介します。普段はなかなか立ち入ることのできない研究施設の内部や、巨大な装置のスケール感を、VRならではの視点で体感していただけます。VRは、若い世代にはすでに身近な技術ですが、本講座ではぜひシニア世代の皆さまにも、この新しい体験を楽しんでいただきたいと思います。操作は簡単で、初めての方でも安心して体験できます。若い世代に負けない好奇心で、最先端の科学の世界を一緒にのぞいてみませんか。

放射光とくらし（電気・エネルギー分野）**講師：放射光科学研究所 客員教授 生天目 博文****第3回****2/27 (土)****15:40～17:00**

日本国内には、現在8か所もの放射光施設があります。これらの施設は、基礎的な学術研究から、企業による産業利用まで、非常に幅広い分野で活用されています。近年では、科学技術と学術研究の最前線が社会や産業とより近く結びつき、新しい発見や技術が迅速に実用化されるようになってきました。その成果は、新聞やニュースなどでも頻繁に取り上げられています。放射光が私たちの暮らしにどのように役立っているのかを具体例とともに紹介します。最近では、「量子通信」や「量子コンピュータ」といった言葉を耳にする機会が増えてきました。実は、ミクロの世界で起こるさまざまな現象は、この「量子」のふるまいによって成り立っています。放射光は、その量子の世界を観測するための重要な手段なのです。省エネを実現するための材料開発や省エネにつながる未来技術の開拓に放射光が活用されています。その取り組みについてご紹介いたします。

自由交流**講師：放射光科学研究所 客員教授 生天目 博文****第4回****2/27 (土)****17:00～17:30**

最後に、アンケートの記入などと並行して、今回のセミナーを振り返り、また、大学での教育・研究、科学の動向など自由な観点での交流の時間をもちたいと思います。

講座内容に関する
お問い合わせ先

広島大学放射光科学研究所 客員教授 生天目 博文

電話： 082-424-6293

メール： namatame@hiroshima-u.ac.jp

広島大学公開講座 実施場所（東広島市）

広島大学東広島キャンパス（東広島市鏡山）

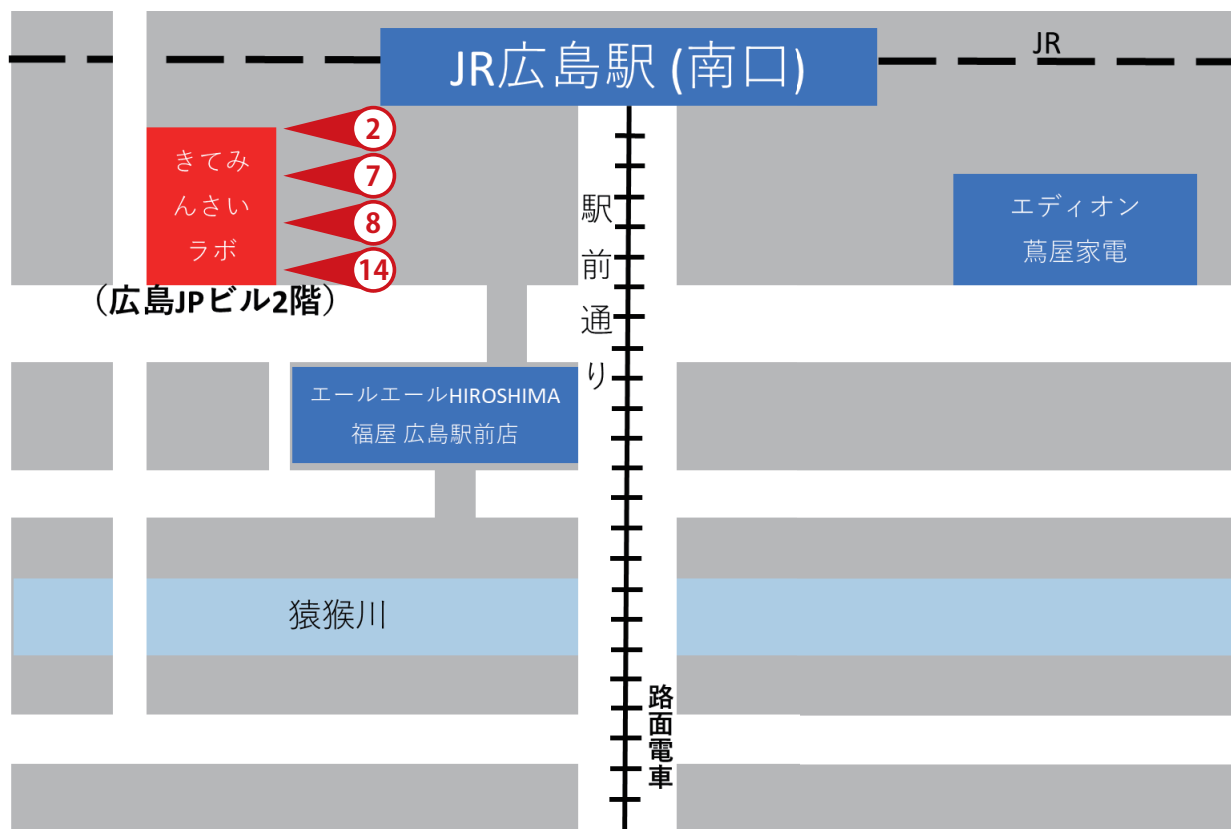


東広島キャンパス



広島大学公開講座 実施場所（広島市）

きてみんさいラボ



きてみんさいラボ (広島駅南口 広島JPビルディング2階)
〒732-0822広島市南区松原町2番62号
TEL : 082-207-1764

広島大学公開講座 実施場所（広島市）

広島大学東千田キャンパス

広島大学東千田キャンパス
〒730-0053
広島市中区東千田町一丁目1番89号



東千田キャンパス Higashi-Senda campus



主な交通アクセス

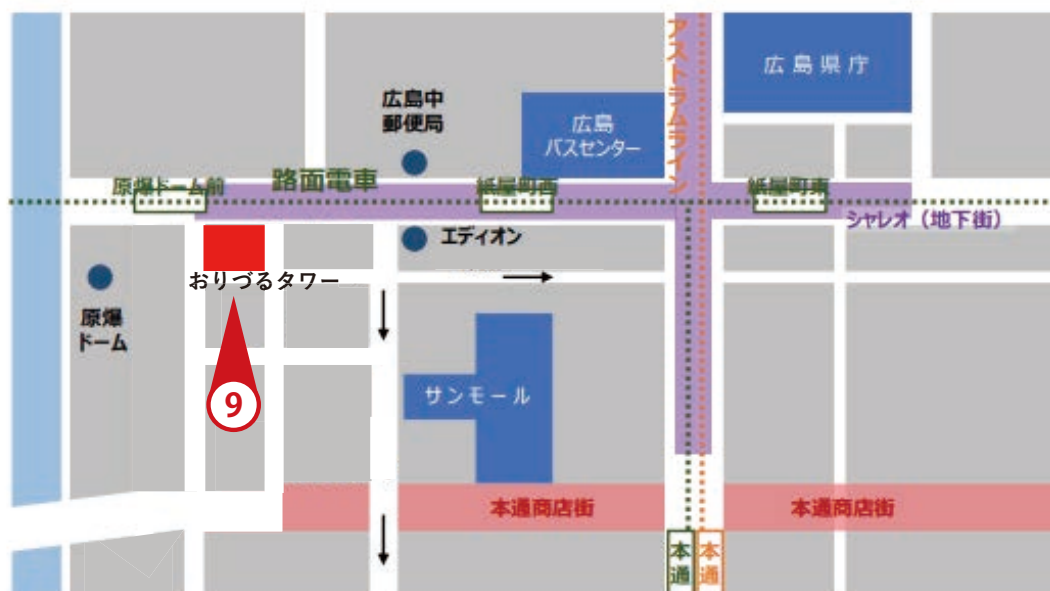
【 JR 広島駅から 】

- 市内電車…広島電鉄 1 号線、紙屋町經由広島港行で約 30 分、日赤病院前下車、徒歩約 3 分。
- バス…広島バス 21-1 号(宇品線)、紙屋町經由広島港行で約 20 分、日赤前下車、徒歩約 3 分。
広島バス 50 号(東西線)、アルパーク方面行で約 12 分、日赤前下車、徒歩約 3 分。

※ご来場の際は、公共交通機関を利用してお越し下さい。

広島大学公開講座 実施場所（広島市）

エソール広島（おりづるタワー10階）



エソール広島（おりづるタワー10階）

〒730-0051 広島市中区大手町一丁目2番1号

TEL：082-569-6803

↓受講を希望する講座の太枠内に○をご記入ください。 ※返信用封筒(切手貼付け)を同封ください

○印	講座番号・講座名	受講可否確認欄
	1. ことばの謎を解く：日本語の文の见えない構造 (対面講座)	
	2. 中東を読み解く：歴史、社会に目を向けて (対面講座)	
	3. 文学を研究するということー世界の文学を題材にー (対面講座)	
	4. 時事問題を経済学的にひも解く (対面講座)	
	5. 森と陸と海と空のかかわり：地球をめぐる総合科学 (対面講座)	
	6. 広大研究者が語る食の未来 (対面講座)	
	7. 東広島植物園の意義と役割ー植物園から発信する自然共生への挑戦ー (対面講座)	
	8. 宮島の自然を未来へつなぐー森・海・シカから考えるネイチャーポジティブー (対面講座)	
	9. バイオテクノロジーってなあに？ (対面講座)	
	10. 暮らしを支える建築のしくみ (対面講座)	
	11. 変わる社会・変わる法 (対面講座) ※オンラインでの受講を希望される場合はwebでの申込のみとなります(4ページ参照)	
	12. グローバル社会・大学・地域を結ぶー異文化との接触に備えてー (対面講座)	
	13. 「キャンパスまると博物館」で数千万年の自然環境・歴史を学ぶ (対面講座)	
	14. VR先端科学体験セミナーCー省エネルギー月間スペシャル(放射光と省エネ技術) (対面講座)	

ふりがな		性 別	年 齢
氏 名		男 ・ 女 □回答しない	歳
連絡先	〒		
	電話番号 — — Email :		

※お申込みに伴う個人情報は、講座の出席確認、緊急連絡、大学から公開講座に関する案内及び調査統計に利用し、その他の目的には利用しません。

受講可否確認欄に○の付してある講座の受講者として認めます。

2026年 月 日 国立大学法人 広 島 大 学



広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当

〒739-8511 東広島市鏡山 1 - 3 - 2

E-mail : chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

Webサイト : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>